

県立秦野ビジターセンター

●自然教室「足もとしっかり楽しい登山」

開催日:平成21年12月12日(土)

時間:9:00~16:00

場所:ビジターセンター館内と大倉尾根

内容:安全登山の基本的な技術を学んで、安全で楽しい登山を目指しましょう!

講師:(社)日本山岳ガイド協会認定 下越田 巧 氏

対象:高校生以上30名 ※応募者多数の場合は抽選

費用:一人1,100円

申し込み:往復ハガキかFAX(FAX返信用番号明記)に行事名と参加者全員の氏名・年齢・住所・連絡先電話番号を明記し、締切日(11/26)必着で秦野ビジターセンターへ

※詳細は締切後に連絡いたします。

●ガイドウォーク(無料・申込不要)

ビジターセンター周辺の自然をスタッフがご案内します。

自然の中で不思議な発見を一緒にしてみませんか?

開催日:毎月第4日曜日 10:30~12:00頃

●スライドトーク(無料・申込不要)

生きものや景色の写真・標本などを用いて、

丹沢の自然を楽しくご紹介します。

開催日:毎週土曜日 13:30~14:00

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●企画展「私たちのくらしと丹沢」

内容:丹沢ってどんな所?問題を抱えているの?県作成の丹沢副読本「私たちのくらしと丹沢」を通して、水源地である丹沢の現状を紹介します。

期間:平成21年11月11日(水)~平成22年3月31日(水)

●ガイドウォーク(無料・申込不要)

宮ヶ瀬周辺の旬の自然を楽しんでみませんか?ビジターセンタースタッフがおすすめコースをご案内します。

開催日:毎週土曜日、日曜日、祝日 13:30~14:30頃

県立丹沢湖ビジターセンター

●企画展「タイムスリップ丹沢湖」

内容:丹沢湖周辺の自然や歴史について、昔と今を見くらべます。

期間:平成21年10月3日~12月27日

●ガイドウォーク(無料・申込不要)

スタッフと一緒に、旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺を散策してみませんか?

開催日:毎月第2日曜日 10:00~12:00(ボランティアスタッフ)
毎月第4日曜日 13:30~14:30(センター職員)

●スライドトーク(無料・申込不要)

オリジナルのスライドで、丹沢の自然やマメ知識をご紹介します!

開催日:毎週日曜・祝日 13:00~13:30

※県立ビジターセンターの「ガイドウォーク」、「スライドトーク」は、行事などの都合により中止または日程変更する場合がございます。また、10名以上で参加の際は事前にお問い合わせ下さい。

2009

11月号

No.69

~自然公園から季節のたよりをお届けします~

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

西丹沢自然教室



紅葉は昨年並みのペースで進行しています。

畦ヶ丸方面の斜面地

10月中旬の檜洞丸は、ツツジの仲間やサクラの仲間の赤い紅葉が見事です。昨年の紅葉は標高1400m以上では10月16日から26日にかけてが見頃でした。標高500m~700mでは11月初旬から中旬、それ以下では11月下旬頃が見頃でした。今年は10月初旬に、2年ぶりに台風が来ましたが、紅葉の時期より前だったのであまり影響しませんでした。

今年は10月中でも朝の気温が10℃程度の日が続き、昨年より寒く感じます。昨年は11月11日に山の上では雪が降り、11月19日には西丹沢自然教室に霜が降りました。今年の晩秋はどうなるのでしょうか。

秋の花はあまり咲いていません。ヤマトリカブトもイワシャジンも昨年までと比べて花の数が少ないようです。花が良かったのはシロヨメナ、ダイヤモンドソウです。今年は春から花の時期が早く、5日から一週間程度早めに咲き始めました。ミズナラのドングリはまだ青いうちに落ち始め、他の木の実も少なかったのですが、アケビの実が目立ちました。

【倉持】

自然公園へ出かけよう



県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 藤野町佐野川659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30(4/1~11/30)
9:00~16:00(12/1~3/31)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30(4/1~11/30)
8:30~16:00(12/1~3/31)

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧札場164
Tel0460-85-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行 財団法人 神奈川県公園協会公園課

後援:丹沢大山自然再生委員会

〒231-0027横浜市中央区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

自然公園課: sizenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

丹沢湖ビジターセンター

シカたちの訪問

「フィーヨーッ♪」甲高く切ない、オスジカの求愛の音が聞こえる季節になりました。来るべき冬と翌春の出産にそなえて、シカたちは今、モリモリと植物を食べているところですよ。

夏にはあまり訪れなかったセンターに、またシカたちがやってくるようになりました。どうして分かるのかって？それは、シカの食べた痕跡（食痕）があるからです。

センターに咲いている秋の花をよく見ると…先がなくなっている茎があるのがわかりますか？



これがシカの食痕です。ノコンギクとタイアザミはキク科です。アザミの仲間はトゲがあり、一見食べにくそうですが、花が咲く頃になると、このような食痕をよく見かけます。食べたあとにポロポロと落ちていったウンチも見つかるかもしれません。

草花がなくなる冬には、落ち葉を食べようになります。写真のシカはヤマグワの葉を何枚も食べていました。落ち葉は栄養価が低いので、その分たくさん食べないとはいけません。資源が乏しくなる冬、がんばって生き延びてほしいですね。

【長澤】



シカ

宮ヶ瀬ビジターセンター

「薙刀香薷」「泡黄金菊」「水引」

…これらはみな漢字で書かれた植物の名前（別名含）です。“桜”や“松”など漢字でなじみの深い植物はたくさんありますが、漢字を調べてみるとカタカナの名前では感じられないぴったりの漢字がつけられているものがたくさんあります。例えば、秋に咲く“アキノウナギツカミ”。とても小さなピンク色のかわいらしい花ですが、茎には、するどい下向きの刺がある植物です。

この名前を漢字で書くと“秋の鰻糞”。「つるつる滑るうなぎも、この茎でなら捕まえられる」という名前です。命名の由来を聞くと「なるほど!」と頷きたくなります。

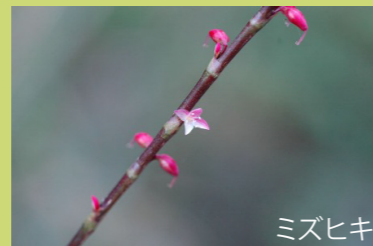
では、「薙刀香薷」「泡黄金菊」「水引」の名前の由来をみましょう!



アキノウナギツカミ



アワコガネギク



ミズヒキ



ナギナタコウジュ

ナギナタコウジュ：薙刀のように反り返り片側にだけ花をつけることと、漢方の香薷に匂いが似ていることから。
アワコガネギク：黄金色の泡のように見える密集した花を咲かせる。別名 キクタニギク。
ミズヒキ：お祝いの水引（赤白）の色と花の色が同じ。

漢字の意味や言葉の雰囲気と植物を対応させていくと謎解きのようで面白いです。「牛の額」「あかまんま」など別名や方言も含めて和名を見ると「へえ～」という驚きや、“んっ??”という疑問など昔の人々の命名の面白さが感じられるのではないのでしょうか。

【篠島】

秦野ビジターセンター

秋に出会ったチョウの話です…

木々の葉が染まり始めた山の中腹で、キラリと光る青いものが目に留まりました。よく見ると…ルリタテハです（写真上）。広げた羽のブルーの筋がとても鮮やかです。ルリタテハは成虫の状態です。冬を越すチョウで、羽を閉じると見える裏面は茶褐色で、落ち葉などに身を隠すのに適しています。この時もこちらに気づくとすぐに、す〜っと林道脇の斜面にひそんでしまいました（写真中）。写真の中でどこにチョウがいるかわかりますか…!?

ビジターセンターの近くでは、ふわふわと舞うアサギマダラを見つけました。このチョウは日本列島や南西諸島、台湾などの間を南北方向に旅をします。中には1500kmもの飛翔が確認された例もあります。丹沢では初夏の頃、南方からの到着が確認され、夏～秋の間も観察できます。

今の時期は北から南への移動が始まっているので、丹沢で出会うチョウはもっと北方から旅をしてきたものと思われます。どこから来て、どこへ向かうのか…?想像がふくらみます!

だんだんと静かな季節がやってきます。それでも小さな生きものたちの営みは続きます。秋の山で、ぜひ、そんな姿を探してみてください!

【鈴木】



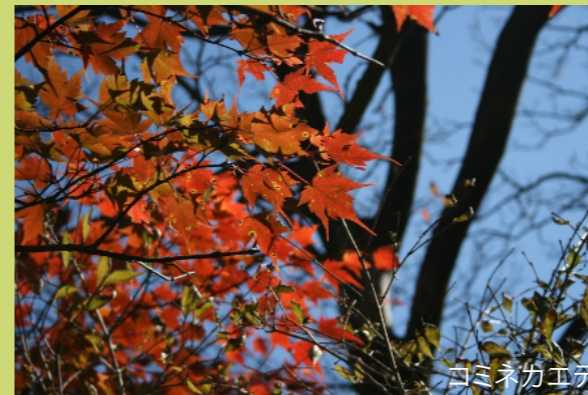
ルリタテハ



アサギマダラ (初夏)

箱根ビジターセンター

箱根の紅葉が始まります



コミネカエデ



神山からの眺望

箱根は朝晩すっかり肌寒くなり秋本番、いよいよ紅葉の訪れを待つばかりとなりました。箱根の紅葉は、箱根でいちばん高い神山から始まります。コミネカエデ、オオイタヤメイゲツ、ナナカマド、コアジサイなどの木々が赤、橙、黄などの彩りを見せ、頂上から見渡すと、新雪のきた富士山や、周囲の山々との鮮やかな色の競演が楽しめますよ。これから11月にかけて紅葉前線は次第に高度を下げ、箱根の山を包んでゆきます。

箱根ビジターセンターでは現在「箱根の鳥展」を開催しています。ビジターセンター周辺で撮影された様々な鳥たちの生活の様子を、実に400枚を超える写真で紹介。鳥たちの食事風景やおしゃれ風景、求愛行動、けんかまで出てきますよ。

鳥たちの私生活を少し覗いてみませんか。11月24日（火）まで館内多目的ホールにて。

※11月21日（土）は見学できません。



【加藤】

キジ